

平成 29 年度  
下水道に関する人身事故発生状況について  
(平成 29 年 9 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 1.人身事故発生状況(総括)

(平成29年9月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (4)	1 (4)
	2. 負傷事故	3 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (4)	4 (0)	0 (1)	0 (5)	0 (5)	0 (1)	0 (3)	0 (2)	18 (25)	18 (25)
	合計	3 (0)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	3 (4)	4 (1)	0 (2)	0 (5)	0 (5)	0 (1)	0 (4)	0 (2)	19 (29)	19 (29)
	累計	3 (0)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	15 (9)	19 (10)	19 (12)	19 (17)	19 (22)	19 (23)	19 (27)	19 (29)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	5 (3)	5 (3)
	2. 負傷事故	4 (5)	5 (4)	5 (6)	5 (8)	7 (5)	13 (8)	0 (8)	0 (7)	0 (13)	0 (15)	0 (15)	0 (9)	39 (103)	39 (103)
	合計	4 (5)	5 (4)	6 (6)	7 (8)	7 (5)	15 (8)	0 (8)	0 (7)	0 (14)	0 (15)	0 (17)	0 (9)	44 (106)	44 (106)
	累計	4 (5)	9 (9)	15 (15)	22 (23)	29 (28)	44 (36)	44 (44)	44 (51)	44 (65)	44 (80)	44 (97)	44 (106)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	6 (7)	6 (7)
	2. 負傷事故	7 (5)	7 (5)	7 (7)	9 (10)	10 (9)	17 (8)	0 (9)	0 (12)	0 (18)	0 (16)	0 (18)	0 (11)	57 (128)	57 (128)
	合計	7 (5)	7 (5)	8 (7)	12 (11)	10 (9)	19 (9)	0 (10)	0 (12)	0 (19)	0 (16)	0 (21)	0 (11)	63 (135)	63 (135)
	累計	7 (5)	14 (10)	22 (17)	34 (28)	44 (37)	63 (46)	63 (56)	63 (68)	63 (87)	63 (103)	63 (124)	63 (135)	-	-

※下段()書きは前年度(平成28年度)の値  
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成29年9月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	7	9
	2. 政令市	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	7	5
	3. 一般市	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5	13
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	2	2	5	3	4	0	0	0	0	0	0	19	29
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	7
	3. 処理場	1	2	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	12	16
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	5. その他	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1
	合計	3	2	2	5	3	4	0	0	0	0	0	0	19	29
事故類型	死亡事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	負傷事故	3	2	2	4	3	4	0	0	0	0	0	0	18	25
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	6	11
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5. 転倒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2
合計	3	2	2	5	3	4	0	0	0	0	0	0	19	29	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	0	0	0	0	0	0	17	26
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	0	0	0	0	0	0	21	31
	累計	3	5	7	12	16	21	21	21	21	21	21	21	-	-

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	0	1	1	2	4	0	1	5	4	1	5	2	26
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
	合計(人)	0	1	1	3	4	1	2	5	6	1	5	2	31
	累計	0	1	2	5	9	10	12	17	23	24	29	31	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

# 人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成29年度

平成29年9月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
<b>9月</b>								
1	9月6日	3. 一般市	マンホール	①負傷事故	12.公衆災害	農道にある下水道マンホールの段差(6~7cm)につまずき、顔を強打、負傷した。(顔面裂傷)	応急措置として、クラッシャーランで段差解消。最終的にアスファルト舗装を予定。 他のマンホールの段差についても同様に対処。	第三者
2	9月6日	3. 一般市	処理場	①負傷事故	1.墜落・転落	ダンプにし渣積み込み作業終了後、荷台の足場を踏み外しダンプルーフ付近から下へ転落した。(左手首骨折、腰打撲)	受託者において、降雨時などは車輛の滑りやすくなる箇所(梯子、荷台など)の滑り止め対応等を施す。 市においても委託業者に安全対策の徹底を指導する。	委託先業者
3	9月7日	2. 政令市	その他	①負傷事故	12.公衆災害	下水本管調査に伴う清掃作業のために開放していた宅地内の取付ますの蓋を受注者が作業後に閉め忘れたため、第三者の左足がはまり、膝に擦り傷を負った。	局内及び受注者に同種事故の再発防止について注意喚起を実施。 また当該受注者には、作業の改善策の検討を指示。	第三者
4	9月11日	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	14.その他	浄化センター機械濃縮棟へタンクローリー車でポリ硫酸第二鉄の受入が完了し、ホース内に残留しているポリ鉄を回収する際、ポリ鉄が飛散し、維持管理者2名が暴露した。	・タンクローリー車はホース内を空にできる機能を有する車両を使用する。 ・バルブ等の操作方法の見直し、防護具の改善、受託者の指導	委託先業者

### 3.事故発生状況(工事) (平成29年9月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	0	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	6	6
	2. 政令市	1	2	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	9	19
	3. 一般市	3	2	4	3	4	11	0	0	0	0	0	0	27	69
	4. 町村	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10
	5. その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	合計	4	6	6	9	7	15	0	0	0	0	0	0	47	106
工事分類	1. 管きょ開削	2	4	3	3	3	9	0	0	0	0	0	0	24	67
	2. 管きょ推進	0	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	8	12
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	4. 管きょその他	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	5. 処ポ土木建築	2	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	8	9
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	10
	7. 処ポその他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
	合計	4	6	6	9	7	15	0	0	0	0	0	0	47	106
事故類型	1. 墜落・転落	1	1	2	4	0	3	0	0	0	0	0	0	11	22
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	10	23
	3. 飛来・落下	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	6
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1
	5. 転倒	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	6. 激突	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	6
	8. 交通事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	5	14
	12-2. 公衆災害(物損)	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14. その他	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3	4
合計	4	6	6	9	7	15	0	0	0	0	0	0	47	106	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5	3
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	0	0	0	0	0	0	24	69
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	0	0	0	0	0	0	15	24
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	0	0	0	0	0	0	44	96
累計	4	9	15	22	30	44	44	44	44	44	44	44	-	-	
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	2. 重傷	4	1	5	5	3	7	7	5	7	10	10	5	69
	3. 軽傷	1	3	1	3	2	1	1	2	5	1	2	2	24
	合計(人)	5	4	6	8	5	8	8	7	13	11	14	7	96
累計	5	9	15	23	28	36	44	51	64	75	89	96	-	
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成29年度

平成29年9月末現在

NO.	発生日月	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
<b>9月</b>										
1	H29.9.1	3.一般市	1.管きょ開削	看板設置作業	現場内	補助員が転落防止柵の歩道側で工事看板を持ち、罹災者が柵の外側において番線で結束していた。罹災者が結束する際に締め付け用の道具が番線から外れ体のバランスを崩したため、後方へ飛び降り2.4m下のコンクリート製水路底盤に足から着地し右足を負傷した。	1.墜落・転落	35	男	右足下腿骨骨幹部骨折
2	H29.9.6	1.都道府県	6.処ボ機械電気	ポンプ基礎のはつり作業	現場内	ポンプ基礎のはつり作業中、誤ってはつり機械のドリル先が自身の右足甲に接触し負傷した。	4.切れ・こすれ	54	男	右足甲の開放骨折
3	H29.9.7	1.都道府県	5.処ボ土木建築	仮設工	現場内	防食被覆工事のために反応槽上部の汚損防止のブルーシートを貼る養生作業中に、反応槽上部の開口部より、5.6m下の槽内に落下。その後、病院へ搬送されたが死亡。	1.墜落・転落	35	男	死亡
4	H29.9.9	3.一般市	1.管きょ開削	土留設置工	現場内	土留材を設置しようとした際に路肩側の土砂が崩れ、布設済管渠に仮止めキャップを設置するため隣接スパンで待機していた作業員に接触し、作業員が負傷した。	7.土砂崩壊	41	男	肋骨3本骨折
5	H29.9.13	3.一般市	1.管きょ開削	—	現場内	下水道工事による埋戻し箇所(1.5m×1.5m=2.25㎡)が10cm程度陥没していた。そこに、原付バイク2台が通行したところ、転倒し運転者2人が負傷した。	12-1.公衆災害(人身)	30代 30代	男 男	右手小指骨折、擦り傷
6	H29.9.13	3.一般市	1.管きょ開削	ボーリング工	現場内	ボーリング調査(標準貫入試験)を行うため、ロッドにサンブラーを接合させようとした際、ゴム手袋がネジ山に挟まり、親指が巻き込まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	23	男	左手親指第一関節上部切断、左手上腕骨折2箇所
7	H29.9.13	2.政令市	7.処ボその他	—	現場内	現場作業中にケーブルが損傷し、水処理センター内の保護装置が動き、プレーカーが落ちた。その後、ケーブル損傷の対応をしないままプレーカーを入れてしまったため、保護装置が動き、水処理センターと同一の回路を使用していた約700世帯の停電が発生した。	14.その他	—	—	—
8	H29.9.14	3.一般市	5.処ボ土木建築	仮設足場設置	現場内	被災者は消化槽内部の足場取付け作業後、上段部ステップ用の踏み板が不足していることに気づき、安全帯を外し取りに向かう途中歩き出した際、消化槽内の柱と足場の間の開口から8.5m墜落し負傷した。	1.墜落・転落	37	男	左上腕骨骨幹部骨折、頭部裂傷
9	H29.9.15	3.一般市	4.管きょその他	—	現場内	雨水管渠築造中の縦坑において、既設管からの雨水の浸入を防ぐ仮蓋の影響で、管渠内及び縦坑内の気圧が高くなったことにより、縦坑上部の覆工板が持ち上がり、その際に上部を通りかかった乗用車に接触し、運転手が軽傷を負った。	12-1.公衆災害(人身)	55	女	胸部打撲
10	H29.9.18	1.都道府県	5.処ボ土木建築	玉外し作業	現場内	鋼矢板の玉外し作業中(トレーラー上)に鋼矢板が落下。クレーンオペレータが落下に気づき、ワイヤーを下げたため、被災者の左足が積込済みの鋼矢板の束に設置してあったずれ止め金具と鋼矢板の束(3枚)の間に挟まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	20	男	左足ふくらはぎ裂傷(13針縫合)
11	H29.9.20	3.一般市	1.管きょ開削	管基礎工	現場内	基礎砕石転圧作業中に、シーティング(簡易土留)間を転圧機械を移動させようとした際、エンジンが高速回転のままであったため、パウンドし切梁部に左手人差し指が接触し負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	50	男	左手人差し指骨折(全治2ヶ月)
12	H29.9.22	3.一般市	1.管きょ開削	仮設材設置工	現場内	マンホール築造時の掘削作業中(深さ1.8m)において、2.5m軽量鋼矢板を吊り降ろしていたところ、吊り金具が外れて掘削部の中に入った被災者に接触した。	3.飛来・落下	44	男	右上腕部打撲
13	H29.9.27	3.一般市	1.管きょ開削	—	現場内	薬液注入ボーリング施工中に通信ケーブル用の埋設管(管径300ミリメートル)を、薬液注入するロッド(φ40)で貫通し、ケーブル被覆部に損傷を与えた	14.その他	—	—	—
14	H29.9.29	3.一般市	1.管きょ開削	—	現場内	歩道内に下水道管を布設する工事において、管渠布設後、仮舗装にて解放のうえ、9月19日より工事が一時休工となっていた。休工中の9月29日に、仮舗装上部を通りかかった一般人が、歩道上にできていた幅20cm、長さ50cm、深さ5cmの陥没箇所により転倒し、左足のくるぶしを骨折した。	12-1.公衆災害(人身)	60代	女	左足くるぶし骨折
15	H29.9.29	3.一般市	1.管きょ開削	砂基礎工	現場内	下水道汚水管渠(管径200mm)布設工事中、深さ2.2メートルまで掘削(掘削幅約95cm、長さ約2m)した掘削溝に、土留め材設置前であったが、作業員1名が入ってしまったところ、片壁(幅約70cm、長さ約2.0m)が崩れて、生埋め(胸部より下側)となった。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	7.土砂崩壊	35	男	死亡

平成 29 年度  
下水道に関する水質事故等発生状況について  
(平成 29 年 9 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 水質事故等発生状況

(平成29年9月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	28 (48)
	累計	1 (3)	4 (10)	10 (14)	16 (18)	17 (21)	28 (25)	28 (30)	28 (32)	28 (37)	28 (43)	28 (47)	28 (48)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	10 (6)
	2. 政令市	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (6)	3 (2)	3 (1)	0 (3)	3 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	10 (30)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (5)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	28 (48)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	2 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (2)	2 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	9 (21)
	2. マンホール	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	5 (4)
	3. 処理場	0 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (3)	1 (0)	5 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	12 (12)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (4)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (7)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	28 (48)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (2)	6 (2)	0 (4)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (0)	16 (21)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	4 (15)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (12)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	28 (48)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (11)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	0 (3)	0 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	9 (18)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)
	水質事故 合計	1 (3)	2 (6)	4 (4)	3 (2)	1 (2)	6 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	17 (41)
	その他案件	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (2)	0 (1)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	11 (7)
水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	0 (5)	0 (2)	0 (5)	0 (6)	0 (4)	0 (1)	28 (48)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (4)
	② 耐用年数以内	1 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	8 (8)
	③ 天災等	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (5)
	合計	1 (1)	1 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (2)	1 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	9 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )内書きは、前年度(平成28年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 水質事故等情報データベース

平成29年度

平成29年9月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
<b>9月</b>								
1	H29.9.4	3. 一般市	処理場	水質事故	悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)			事業場または、一般家庭から下水道へ油類が投棄された(推測)。 流入経路調査の実施。今後も同様な投棄があった場合には、啓蒙活動等を実施。
2	H29.9.5	1. 都道府県	その他	その他案件	—			下水道局で占用している荒川の護岸ブロックが設置されている用地で空洞化が進み陥没が発生。 —
3	H29.9.10	1. 都道府県	その他	その他案件	—			平成24年に下水処理水管と水道給水管とを接続。9月10日にトイレ清掃を行った際、下水処理水の配管のバルブを開け、作業終了後に閉め忘れた。その後、給水管が接続している水道よりも水圧の高い下水処理水が、水道の配水管に逆流した。 ・再発防止に向けた研修を実施(職員及び受注者) ・トイレ配管に対する明示方法等の検討。 ・より安全性を向上させるため、下水処理水等を利用している施設において、水道メータ下流の直近に逆止弁を設置する。
4	H29.9.12	2. 政令市	処理場	その他案件	—			汚泥乾燥造粒設備の乾燥汚泥篩供給コンベアから集塵バグフィルタへ繋がるダクトホース内に堆積していた燃料化物の粉塵がくすぶり、発火し火災が発生。 ダクトホース等の材質変更及び設備停止工程の酸素濃度管理の検討を実施する。
5	H29.9.12	3. 一般市	管渠	水質事故	雨水管からの悪質下水の流出			都市下水路の上流の水路から油が流入し、放流先の河川にも油が流出した。 検討中
6	H29.9.14	2. 政令市	処理場	その他案件	—			平成25年に除塵機設備の洗浄水(下水処理水を使用)を送水する増圧ポンプの故障時に備え、水道水を供給できるように職員が水道給水管を下水処理水管に接続させたことが判明。 ・局内へ本案件を踏まえた注意喚起等の実施 ・局内職員へ関係法令や規定等に関する研修等の実施 ・施設内の配管の表示等の徹底
7	H29.9.15	2. 政令市	処理場	その他案件	—			平成17年にポンプ用の冷却水を循環させるポンプの故障に備え、緊急避難的に水道水が供給できるように職員が水道給水管をポンプ冷却水管に接続したことが判明。 ・局内へ本案件を踏まえた注意喚起等の実施 ・局内職員へ関係法令や規定等に関する研修等の実施 ・施設内の配管の表示等の徹底
8	H29.9.23	2. 政令市	マンホール	水質事故	下水道施設からの下水等の流出			付近にある店舗からの油脂類の流出が原因で、管きよが閉塞し、汚水がマンホールから流出した。 検討中
9	H29.9.23	1. 都道府県	処理場	水質事故	悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合			降雨による流入量増水があり、高負荷運転を行ったところ、最終沈殿池で十分な汚泥の沈降ができず、かつ急速ろ過池バイパス運転により、汚濁物質の十分な除去が出来なかったことでBODが放流水質基準を超過した。 検討中
10	H29.9.28	3. 一般市	マンホール	水質事故	下水道施設からの下水等の流出			早朝からの大雨により、マンホール等を介して汚水管に雨水が流入し、汚水管の排水能力の限界を超え汚水がマンホール等から流出した。 検討中

## 水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成29年度

平成29年9月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
<b>9月</b>								
1	H29.9.19	2. 政令市	管渠	水質事故	下水道施設からの下水等の流出	確認中	耐用年数以内	圧送管が錆びたことにより、2cm程度の穴があき、汚水が流出した。 圧送管の管理マニュアルの早期完成。同様の圧送管の調査実施。